

## ペイオフ解禁！！

2003 年 4 月に予定されていたペイオフ（預金などの払戻保証額を元本 1,000 万円とその利息までとする措置）の解禁時期を 2 年間延期していましたが、本日 4 月 1 日より実施されます。

### 1. ペイオフ制度とは

これまでは金融機関が経営破綻した場合、預金は全額保護されておりましたが、平成 17 年 4 月から、金融機関が経営破綻した場合には、金融機関に代わって預金保険機構が、元本 1000 万円とそれに対応する利息を上限に、払い戻しを保証する制度です。

### 2. ペイオフの対策方法

金融機関が経営破綻した場合、ひとつの金融機関では、一人に対して元本 1000 万円とその利息までしか保護できなくなります。

したがって、複数の金融機関に分散して預入することはペイオフ対策のひとつの手段です。

しかし、ペイオフの解禁が決定した中で、本当に大切なことは、取引されている金融機関の健全性を知ることです。

### 3. 金融機関の安全性について

安全な金融機関かどうかを判断する指標としては、自己資本比率 リスク管理債権比率 預金の増減に注目して下さい。「自己資本比率」とは資産に対して自己資本（資本金や利益を積み立てた返済義務のないお金）をどの程度持っているかを示します。これによって金融機関が万が一の場合に対処できる十分なお金を持っているかどうか判断できます。

国際業務を営んでいる金融機関は 8%未満、国内業務のみを営んでいる金融機関は 4%未満になると、人員削減や業務停止命令など、早期是正処置が発動され、ペイオフが現実問題となります。

「リスク管理債権比率」は、総貸出額に対する不良債権額の割合です。この数字が低いほど安全であると言えます。全金融機関の平均は、6.94%です。この数字が大きいほど危険度は大きくなります。最後に「預金の増減」です。一般企業の売上にあたります。異常に高い金利で預金を集めているような場合には注意が必要となります。

### 4. 近畿ろうきんの安全性について（2004 年 6 月現在）

ろうきんの「自己資本比率」は全国平均で 9.8%と、国内基準 4%を 2 倍以上も上回っています。「リスク管理債権比率」はわずか 1.15%で全金融機関平均の 6.94%を大きく下回っています。しかもこれには担保や保証がついていますので経営に与える影響はほとんどありません。「預金の増減」も 1 年間で 4.54%の増加しています。

### 5. 健全な「近畿ろうきん」へ

ペイオフ解禁で不安になりがちですが、あくまで金融機関が破綻した場合の処置です。複数の金融機関に分散すれば安心と思われそうですが、安心できる金融機関に預けておけば問題はありません。健全経営の近畿ろうきんは、各組合の財産をしっかりと守ってもらえます。

### 6. 労働組合の一斉積立預金について

労働組合名義の一斉積立は当該労働組合の預金として名寄せされ、元本 1000 万円とその利息までなら預金保険の対象となります。闘争積立金や退職積立金など、労働組合の規約等に基づき行ういわゆる「一斉積立」は、ほとんどが労働組合名義で預け入れされています。労働組合は、法律的に法人または権利能力なき社団としての性格を有することになりますので、労働組合名義の一斉積立は当該労働組合の預金として名寄せされることになります。